

複式第5・6学年 国語科学習指導案

第5学年 計7人
第6学年 計5人
指導者 玉泉 眞和

1 単元・教材

奄美群島日本復帰70周年、『奄美の魅力』を伝えるパンフレット(意見文, 紹介文)を作ろう

「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」(光村図書5年)

『鳥獣戯画』を読む「日本文化を発信しよう」(光村図書6年)

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

(第5学年)

これまでに子供たちは、4年の「世界にはこる和紙」の学習で、まとまりごとに中心となる語や文を確かめ、要約することを、「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習で、理由や事例を挙げて考えを伝える学習をしてきている。さらに、5年の「新聞を読もう」の学習では、書かれた目的や対象を踏まえて、知りたいことに合った新聞や記事を選んで読む学習をしてきている。

本単元は、「読むこと」の説明的な文章教材「固有種が教えてくれること」と、「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合教材である。指導の重点は図表やグラフの扱い方にあり、特に気を付けたいグラフなどの読み取りについては、情報「統計資料の読み方」で指導していく。図表と文章との対応を読み取ったり、それらの資料の効果を考えたりすることを通して、自分の表現にも生かすことを主なねらいとしている。

ここでの学習は、5年「想像力のスイッチを入れよう」での、事例と意見の関係を押さえて読み、自分の考えを明確にして伝え合う学習へと発展していく。

(第6学年)

これまでに子供たちは、5年の「固有種が教えてくれること」の学習で、文章における資料の効果を考えながら読むことを、「グラフや表を用いて書こう」の学習で、目的に合った資料を選び、資料と文章とを対応させて書くことを学習してきている。さらに、「利用案内を読もう」の学習で、必要なところを選んだり、複数の情報を組み合わせて考えたりする学習をしてきている。

本単元は、「読むこと」の文章教材『鳥獣戯画』を読むと、「書くこと」の教材「日本文化を発信しよう」で構成される複合教材である。筆者の考え方や資料や言葉の使い方の工夫を捉えたり、伝えたいことに合わせた構成を考えたりすることを通して、絵や写真の使い方、豊かな表現などを他の場面でも活用できるようにすることを主なねらいとしている。

ここでの学習は、6年「メディアと人間社会・大切な人と深くつながるために」での、論の展開や表現の仕方に着目して複数の考えを読み、考えを交流する学習へと発展していく。

(2) 指導の基本的な立場

複式学級で異学年一緒に学習することについて、両学年とも刺激を受けている。そこで、国語科の目標が2学年のまとまりで設定されていることから、言語活動として2学年共通の「奄美群島日本復帰70周年、『奄美の魅力』を伝えるパンフレット(意見文, 紹介文)を作ろう」を設定し、学習内容を学年間で可能な限りそろえて授業を行っていききたい。そうすることで、各時間の「めあて」や「まとめ」だけでなく、自力解決の方法やその結果にも関連性が見いだされ、学習内容の系統性も明らかになり、より一層、異学年の子供同士が協力したり、学び合ったりする複式学級のよさを生かすことができると考える。また、授業の様子を見ると、両学年ともガイド学習のよさを感じているものの、国語科の学習においては学習内容が難しかったり、途中で止まってしまったりと苦手意識をもっている子供がいる現状がある。そこで、学習の流れをパターン化し、自分たちで学習を進めていけるようにしていきたい。また、ガイドだけではなく、単元の導入で全員に授業の見通しをもたせることで、全員で協力して授業を進めていくことができるようにしたい。さらに、子供の思考の流れに沿って授業が展開できるように、ガイド学習の充実を図るとともに、1単位時間においても、同時導入・同時終末による「ずらし」なしの学習過程によるガイド学習を行う。そうすることで、同時間接指導の時間をより多く確保し、個別最適な学びの充実を図っていききたい。

(3) 子供の実態

国語科の学習に関する調査結果は以下のとおりである。 (実施日 R5. 7. 19)

調査項目	第5学年(6人)		第6学年(5人)	
	正答	誤答	正答	誤答
① 目的に合った資料を選び、資料と文章とを対応させて書く。	正答 3人	誤答 3人	正答 2人	誤答 3人
② 筆者の考え方や資料や言葉の使い方の工夫を捉えながら読む。			正答 3人	誤答 2人
③ 目的に応じて構成を考え、表現を工夫して書く。			正答 4人	誤答 1人
④ 文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。	正答 1人	誤答 5人		
⑤ 分かることと考えたことを区別して書く。	正答 2人	誤答 4人		
⑥ 国語科の学習	好き 4人	嫌い 2人	好き 3人	嫌い 2人
⑦ 国語科「読むこと」の学習	好き 6人	嫌い 0人	好き 5人	嫌い 0人
⑧ 国語科「書くこと」の学習	好き 5人	嫌い 1人	好き 2人	嫌い 3人
⑨ 国語科における「意欲付け」の学習場面	好き 4人	嫌い 2人	好き 5人	嫌い 0人
⑩ 国語科における「習得」の学習場面	好き 4人	嫌い 2人	好き 5人	嫌い 0人
⑪ 国語科における「活用」の学習場面	好き 4人	嫌い 2人	好き 5人	嫌い 0人
⑫ 国語科における「共有」の学習場面	好き 2人	嫌い 4人	好き 4人	嫌い 1人
<p>5年生の全体的な傾向は以下のとおりである。</p> <p>《学習内容について》</p> <p>④⑤より、資料を用いた文章の効果を考えながら読むことや、分かったことと考えたことを区別して書くことが身に付いていない子供が半数以上いることが分かった。</p> <p>《複式学級における国語科の学習について》</p> <p>⑥⑦⑧より、「読むこと」の学習は全員が好きであるが、国語科の学習や「書くこと」の学習に対し、「学年が上がるにつれて難しい」「何か文章を書くことが苦手」と苦手意識をもっている子供がいることが分かった。</p> <p>⑨より、単元のゴールや単元のめあて、学習計画を立てる学習場面に対し、「考えが思い浮かばないときがあって、学習が進まない」と感じている子供が数人いることが分かった。</p> <p>⑩より、読み方や書き方、話し方や聞き方を習得する学習場面に対し、「難しい」「学んだポイントをまとめることが苦手」と感じている子供が数人いることが分かった。</p> <p>⑪より、習得したことをもとに活用する学習場面に対し、「自分たちで学習を進めていくのは緊張する」「途中で止まってしまう」と、不安をもっている子供が数人いることが分かった。</p> <p>⑫より、単元のゴール(言語活動)を発表したり、学習を振り返ったりする学習場面に対し、「思い浮かばない」「発表が苦手」「考えるのが苦手」と多くの子供が苦手意識をもっていることが分かった。</p>	<p>6年生の全体的な傾向は以下のとおりである。</p> <p>《学習内容について》</p> <p>①より、目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書くことが身に付いていない子供が多いことが分かった。</p> <p>《複式学級における国語科の学習について》</p> <p>⑥⑦⑧より、「読むこと」の学習は全員が好きであるが、国語科の学習や「書くこと」の学習に対し、「真剣に取り組んでもよく分からないことがある」「文をまとめるのが苦手」「何を書けばいいか分からないときがある」と苦手意識をもっている子供が数人いることが分かった。</p> <p>⑨より、単元のゴールや単元のめあて、学習計画を立てる学習場面に対し、「自分たちで進められる」「みんな考えて楽しい」と全員が感じていることが分かった。</p> <p>⑩より、読み方や書き方、話し方や聞き方を習得する学習場面に対し、「新しいことを知るのは楽しい」「どんな方法があるのか気になる」と全員が感じていることが分かった。</p> <p>⑪より、習得したことをもとに活用する学習場面に対し、「より自信がつく」「自分たちのペースで進められる」「復習になる」と全員が感じていることが分かった。</p> <p>⑫より、単元のゴール(言語活動)を発表したり学習を振り返ったりする学習場面に対し、「思い浮かばないことがある」と感じている子供がいることが分かった。</p>			

(4) 指導上の留意点

ア 複式学級における個別最適な学び

- 「意欲付け」の学習場面においては、「奄美の魅力を伝えるパンフレットを作ろう」という共通のテーマを設定する。「書くこと」の学習で苦手意識をもっている子供たちも複数いることから、意欲をもって取り組めるように、自分が伝えたい奄美の魅力からペアやグループを組ませる。また、課題解決の方法や時間、学習ツールなど、個別に計画を立てるようにする。
- 「習得」の学習場面においては、課題追究や考えの形成の方法を選択できるように、全員で見通しを考え、具体的な解決方法を共有した後に、自分に合った方法を選択し自力解決が図れるようにする。その際、資料と文章とをつなぎ合わせる活動や、資料がある文章とない文章で比較して考えさせる活動を入れるなどの手立てをとる。また、習得した資料を用いた意見文の書き方や表現を工夫した紹介文の書き方のポイントを学習支援アプリ等でまとめ、活用場面において必要に応じて振り返らせる。

- 「活用」の学習場面においては、一人一人の興味・関心に応じた学習活動が展開できるように、単元内の総時間や提出締め切り日はそろえるが、単元内自由進度学習とし、その間の学習計画は自分で考えて立てることで、自己調整力を働かせながら取り組めるようにする。その際、目的に合った資料を選んでいるか、資料と文章とを対応させて書いているかを確認しながら進めさせる。また、学習が進んでいる子供には、意見文や紹介文を補強するスライド作り等、発展的に学習に臨ませる。
- 「共有」の学習場面においては、学習の意味を見だし、自分の資質・能力に自信がもてるようにするために、「働かせた言葉による見方・考え方」、「自己の考えの変容とその要因」、「次時への意欲」といった三つの視点を意識して振り返らせるようにする。

イ 複式学級における協働的な学び

- 「意欲付け」の学習場面においては、系統性や関連性を意識して一緒に問題解決を図ることができるように、両学年共通の言語活動「奄美群島日本復帰70周年、『奄美の魅力』を伝えるパンフレット(意見文, 紹介文)を作ろう」を設定する。また、単元を通して身に付けたい力を意識して授業に臨めるように、学年ごとに単元のゴールやめあてを設定し、そのためにはどんな学びが必要かを考えるように働きかける。
- 「習得」の学習場面においては、文章だけでなく資料を用いることよさや、表現を工夫することよさを探す活動を設定する。自分の考えを広げたり深めたりするために、考えを可視化し、共通点を見付けたり、同じ考え同士で類型化したりするよう働きかける。
- 「活用」の学習場面においては、異なる考えを組み合わせたり、よりよい学びを生み出すために、協力し合う意識をもち、自由に対話しながらより説得力のある意見文や、相手に魅力が伝わる紹介文を考えたりできるようにする。
- 「共有」の学習場面においては、学ぶことよさを実感できるようにするために、両学年同時に学びの振り返りを交流し、学習の内容の関連性や系統性を捉えられるようにする。振り返り後、今日の学習を、意見文や紹介文のどこで生かすことができるか確認させる。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

<ul style="list-style-type: none"> ◎ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。(知(2)イ) ◎ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思B(1)エ) ◎ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思C(1)ウ) ○ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知(2)イ) ◎ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思B(1)イ) ◎ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができる。(思B(1)エ) ◎ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思C(1)ウ) ○ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性)
--	--

(2) 評価規準

第5学年	観点	第6学年
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。	知識・技能	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。
①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ②「読むこと」において、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	思考・判断・表現	①「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ③「読むこと」において、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。
見通しをもって学習計画を立て、資料を使うことよさを理解し、今までの学習を生かして、奄美の現状を伝える説得力のある意見文を進んで書こうとしている。	主体的に学習に取り組む態度	見通しをもって学習計画を立て、表現の工夫をするよさを理解し、今までの学習を生かして、奄美の魅力が伝わる分かりやすい紹介文を進んで書こうとしている。

4 指導計画（第5学年：全11時間，第6学年：全11時間）

	5年 学習活動	6年 学習活動		
意欲付け	<p>1 ゴールの活動と単元のめあてを設定する。</p> <p>① 「令和4年度奄美市幸福度調査アンケート」の結果を見る。 ② 「奄美群島日本復帰70周年、『奄美の魅力』を伝えるパンフレットを作ろう」という両学年共通の言語活動を知る。 ③ モデルのパンフレットから，それぞれの学年で身に付けたい力を明確にする。 ④ 各学年の単元のゴールと単元のめあてを設定する。</p> <p>☞ 資料を使って，今の奄美の様子を伝える意見文を書こう。</p> <p>☞ 表現を工夫して，奄美の魅力伝える紹介文を作ろう。</p> <p>☞ 資料をどう使えば，自分の考えが伝わる意見文が書けるだろうか。</p> <p>☞ どのように表現を工夫すれば，奄美の魅力伝えることができるだろうか。</p> <p>⑤ テーマを決める。</p>	<p>☞ 表現を工夫して，奄美の魅力伝える紹介文を作ろう。</p> <p>☞ どのように表現を工夫すれば，奄美の魅力伝えることができるだろうか。</p> <p>⑤ テーマを決める。</p>	意欲付け	
	<p>2 学習計画を立てる。</p> <p>① どのような学習や活動を，どんな順番でするか。 ② 時間・学習形態・調べ方（調査の目的に合う方法）・学習ツール等はどうするか。</p> <p>ア 筆者の考えを知る。 イ 考えを伝えるために，資料を使うよさを学ぶ。 ウ 統計資料の読み方や，意見文の書き方を学ぶ。 エ 自分の報告することについて調べる。 オ 調べたことをもとに，意見文を書く。 カ 振り返る。</p> <p>ア 筆者の考えを知る。 イ 考えを伝えるための，表現の工夫をするよさを学ぶ。 ウ 資料を使うときの注意点や，紹介文の書き方を学ぶ。 エ 紹介文に必要なことについて調べる。 オ 構成を考えて，紹介文を書く。 カ 振り返る。</p> <p>評価 見通しをもって学習計画を立て，資料を使うことのよさを理解し，今までの学習を生かして，奄美の現状を伝える説得力のある意見文を進んで書こうとしている。</p>	<p>ア 筆者の考えを知る。 イ 考えを伝えるための，表現の工夫をするよさを学ぶ。 ウ 資料を使うときの注意点や，紹介文の書き方を学ぶ。 エ 紹介文に必要なことについて調べる。 オ 構成を考えて，紹介文を書く。 カ 振り返る。</p> <p>評価 見通しをもって学習計画を立て，表現の工夫をするよさを理解し，今までの学習を生かして，奄美の魅力が伝わる分かりやすい紹介文を進んで書こうとしている。</p>		意欲付け
習得	<p>3 筆者が伝えたいことを捉え，筆者の考えをまとめる。</p> <p>○ 筆者が伝えたいことは何か，文中の言葉を使って短くまとめる。</p>	<p>3 筆者が伝えたいことを捉え，筆者の考えをまとめる。</p> <p>○ 筆者が伝えたいことは何か，文中の言葉を使って短くまとめる。</p>	習得	
	<p>4 資料を使うことのよさを知る。</p> <p>○ 文章と対応させて使う。 ○ 筆者の伝えたいことを分かりやすくする使い方 ○ 読み手が読みやすくなる使い方</p> <p>評価 目的に応じて文章と資料を結び付けて読んでいる。【思】</p>	<p>4 表現の工夫をするよさを知る。</p> <p>○ 書き出し，文中の言葉の工夫 ○ 文末の表現の工夫(体言止め・語りかけるように)</p> <p>評価 表現の工夫を見つけ，そのよさを考えながら読んでいる。【思】</p>		習得
	<p>5 統計資料の読み方を知り，資料を使った意見文の書き方について知る。</p> <p>① 統計資料の読み方を知る。 ○ 単位や目盛りに注意する。 ○ 調べた時期や対象を確かめる。 ② モデル文から，資料を使った意見文の文章構成について知る。</p> <p>評価 資料の使い方や，使うときの注意点について理解している。【知】</p>	<p>5 資料を使うときの注意点を確認し，表現の工夫を紹介文ではどう生かすかを知る。</p> <p>① 資料を使うときの注意点を確認する。 ○ 引用したときの注意点。 ○ 出典を記す。 ② 紹介文の例から，紹介文の構成や割り付け，表現の工夫について知る。</p> <p>評価 資料の使い方や，使うときの注意点について理解している。【知】</p>		
<p>6～10 習得した技能を生かし，自分の課題解決を図る。</p> <p>① 統計資料から分かることや，取り上げる奄美の魅力についてまとめる。 ② 資料を用いた意見文・表現を工夫した紹介文を書く。</p> <p>評価 筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えている。【思】（6年のみ）</p> <p>評価 引用したり図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思】</p>	<p style="text-align: center;">単元内自由進度学習</p>	活用		
<p>11 パンフレットを読み合い，感想を交流し，学習を振り返る。</p> <p>評価 見通しをもって学習計画を立て，資料を使うことのよさを理解し，今までの学習を生かして，奄美の現状を伝える説得力のある意見文を進んで書こうとしている。</p>	<p>評価 見通しをもって学習計画を立て，表現の工夫をするよさを理解し，今までの学習を生かして，奄美の魅力が伝わる分かりやすい紹介文を進んで書こうとしている。</p>		共有	

これからの学習でも，資料を使って，分かりやすく正確に伝えられるといいな。



評価する言葉の様々な表現や文末の表現などを工夫して，いろいろなものの魅力を伝えていきたいな。